

本ホームページをご覧の皆様、
患者様並びにそのご家族の皆様へ

一般社団法人 大阪府眼科医会ホームページを閲覧いただきありがとうございます。
さてこの度、本邦における眼科 iPS 治療の中心地となっている神戸アイセンターから、下記のようなクラウドファンディング企画のご連絡をいただきました。
クラウドファンディングはご承知の通り、広く一般から募金を集め、その成果によって研究を即時かつ強力に進めていくための枠組みです。下記のご案内文中の下線部分をクリックしていただくと、readyfor という募金サイトに繋がります。この試みに対して賛同し、協力したいという方は、ぜひこの機会にご寄付をお願いします。
もちろん、大阪府眼科医会も組織として寄付を行なったところです。
皆さんがお寄せになった募金は、iPS の技術を使った難病の治療開発に充てられることになるようです。
このような募金活動の背景には、日本において研究費を集めることが困難になっている現状があります。iPS 技術はご承知の通り、日本発祥の技術で、世界で初めて眼内に iPS 細胞を移植した実績もあります。そのため、広く皆様のご協力を仰ぎ、トップランナーとしての地位を揺るぎないものにしていただきたいと思います。ご協力よろしくをお願いいたします。

令和 7 年 1 月 2 0 日

一般社団法人大阪府眼科医会
会 長 佐 堀 彰 彦

<メッセージ>

この度、神戸アイセンターにて、再生医療の臨床応用促進を目的としたクラウドファンディングを行う運びとなりました。
今回は、2-3 年後に予定しております、網膜シート移植の臨床研究準備のための資金調達となります。内容の詳細についてはこちらをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/kobe-eye-center-cf2024>

1 日も早くこのプロジェクトを臨床研究にあげられるよう、日々努めております。
上のリンクから寄付をうけつけておりますが、よろしければ添付のチラシなどもダウンロードして掲示や配布などご活用いただけますと幸いです。

神戸アイセンター 万代 道子 / M.D. Ph.D.